第 13 回全日本企業対抗ゴルフトーナメント
大会ルール
～全予選・全地区決勝・全国決勝大会共通～

１．ゴルフ規則
日本ゴルフ協会（ＪＧＡ）ゴルフ規則２０１３及び大会ローカルルールを適用する。

２．競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について競技委員会の裁定を最終とする。

３．使用球についての規格及び規則
本競技ではワンボール条件は適用しない。

４．移動
各競技者はラウンド中に乗用カートへ乗車することができる。
（乗用カートを設置していないコースは除く。）

５．ホールとホールの間での練習禁止
ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。
この条件の違反の罰は、次のホールに２打課せられ最終ホールにおいてはそのホールに２打課せられる。
（前半と後半のインターバル時での指定練習グリーンでのパッティング練習を除く）

６．険悪な気象条件・日没などのため競技が短縮競技となった場合の順位決定
■全チームが９ホールズを消化している場合→競技成立
■全チームが９ホールズを消化していない場合→競技不成立
本競技が短縮競技として成立した場合、下記の順でその順位を決定する。
【第１優先】全出場選手４名の９ホールズ合計スコア
（３名出場の場合は同順位の中で最下位となる）
【第２優先】チーム内で第１に少ない打数の選手のスコア
【第３優先】チーム内で第２に少ない打数の選手のスコア
【第５優先】チーム内で第３に少ない打数の選手のスコア
【第４優先】チーム内で第１に少ない打数の選手の「ｶｳﾝﾄﾊﾞｯｸ方式」よって決定する。

７．　アドバイス
プレーヤーは同じチーム内のパートナー及びキャディからアドバイスを受けることができる。
なお他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、アドバイスを求めたりした場合にはＪＧＡゴルフ規則第８条によりそのホール２罰打を付加する。

８．　第２の球をプレーする場合の処置
疑問のある場合、１ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について問題をもった場合、その競技者は罰なしに第２の球をプレーすることができる。
第２の球を打つ行動を起こす前に競技者は規則により許されれば、その球でのスコアを採用したいと思う球をマーカーに告げておくこと。
どちらの球のスコアも同じであった場合を除き、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。
※　第２の球の処置をした場合は２つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員会の裁定をあおぐこと。

９．　空き時間の練習について
ハーフ終了時の空き時間において、練習グリーンでのパッティング練習は行っても構わない。

１０．メンバー変更について
出場メンバーは最初の予選出場時のメンバーから大会全体を通して２名までの変更が可能。

１１．クラブに関しては、ＪＧＡ付属規則Ⅱの４ｃ（i）のペンデュラムテストプロトコル（Ｒ＆Ａ内規）の上限を超えるスプリング効果をもつクラブヘッド（いわゆる高反発クラブ）の使用を禁止する。

※　「クラブフェースの溝に関連する新しい規則」については本大会では採用しない。

１２．距離計測やホールレイアウトの確認
プレーヤーは距離計測やホールレイアウトを確認する目的でＧＰＳ式、レーザー式、音声式の距離計測器やコースナビゲーションなどを使用することができる。
※　スタート説明時など、ラウンド前にマーカーの選手に機器の使用を告げてください。
（音声で伝えるシステムの機器は同伴者のプレーの妨げ、迷惑とならないように注意してください。）

１２－ａ．上記の機器を使用して得た情報の交換はアドバイスとはならない。
１２－ｂ．使用する際にプレーを不当に遅延してはならない。
１２－ｃ．プレーヤーのプレーに影響する可能性のある他の条件
（傾斜、高低差、風速　など）を計測する機能が付属されている距離計測器を使用してはならない。
・　携帯電話、スマートホンの使用は可。但し、傾斜を測定する機能は使用不可である。
・　高低差表示機能を有する機器は高低差を表示しない設定での使用は可能である。

※　このローカルールにおいて２－ｂの違反した場合下記の通りとなる。
・初回の違反　：１罰打
・２回目の違反：２罰打
・３回以上の違反があった場合は競技失格とする。

※　１２－ｃの違反があった場合は競技失格とする。
※　　（規則１４－３及び付属規則Ⅳに基づく）

１３．特設ティ、ドロップエリアの使用について
１３－ａ．特設ティでは指定区域内に球をドロップしてプレー再開するものとする。
※　このローカルルール（１３－ａ）の違反は２罰打とする。
※　特設ティの使用は各ゴルフ場のローカルルールで定める。

１４．コールオン（後続組先打たせ）方式について

パー３のホールに限り、
先行組の選手は自分の組の誰もまだパットを始めていない段階で
後続組の選手全員がティーインググラウンドまで来ている場合、
全体的なプレーのペースアップの為に、同伴キャディの判断のもと、
パッティンググリーン上にある球の位置をマークして拾い上げ、
後続組の選手全員がティショットを済ませるまでプレーを控え、
後続の組にティーインググラウンドからプレーさせることができる。

先行組からプレーするように求められ、後続組がそれに応じたときは、
その段階で後続組の各選手は、自分の球が他のプレーヤーのプレーを妨げたり
援助することになりそうだと思われるときは何時でもその球をマークして
拾い上げて良い、との許可を先行組の選手及びキャディに与えたものとみなす。
尚、拾い上げた球は先行組の選手及びキャディが必ず元に戻すこと。

１５．スロープレーに関する罰則（当該組全員が２打罰を負う）

１５－ａ．中間スコアの提出が前の組と１５分以上離れた場合。（前半の最終ホールに２打罰）
１５－ｂ．18Hアテストカードの提出が前の組と15分以上離れた場合。（後半の最終ホールに２打罰）
１５－ｂ．プレー中マーシャルから２回目の警告を受けた場合。
（二回目の警告を受けた次のホールに２打罰、最終ホールの場合はそのホールに２打罰）

※　ボールを探す時間は５分までと定められています。

１６．タイスコア時の決勝方法

【第１優先】全出場選手４名中、打数の少ない上位3名の18ホールズ合計スコア。
【第２優先】全出場選手４名の18ホールズ合計スコア。
【第３優先】チーム内で第１に少ない打数の選手のスコア。
【第４優先】チーム内で第２に少ない打数の選手のスコア。
【第５優先】チーム内で第３に少ない打数の選手のスコア。
【第６優先】チーム内で第４に少ない打数の選手の「ｶｳﾝﾄﾊﾞｯｸ方式」よって決定する。
※　それでも勝敗が決しない場合は同順位とする。

以上

平成２６年５月２３日
全日本企業対抗ゴルフトーナメント
競技委員会

大箱根カントリークラブ　ローカル・ルール

１．　コース内の池はすべてラテラル・ウォーターハザードとする。

※　上記以外はＪＧＡ規則に従い臨時ローカルルールはクラブハウス内に掲示する。

平成 26 年 6 月 14 日
全日本企業対抗ゴルフトーナメント
競技委員会